

自己評価表

愛媛県立今治北高等学校
学校番号(16)

教育方針	志を高く持ち、自ら学び考え行動する生徒の育成を目指す。	重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来、それぞれの場で「一流」が目指せる生徒を育てる。 ・ 海外留学や研修により、国際的視野と指導力を持つ生徒を育てる。 ・ 自分のために、そして誰かのために頑張り抜く生徒を育てる。 ・ 勇気を出して、一歩踏み出せる生徒を育てる。
------	-----------------------------	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
学習指導	家庭学習の充実	1日平均の家庭学習について1・2年生は3時間以上、3年生は4時間以上を確保させる。	B	6月と11月の2回の調査の平均は、1年商108分、普169分、2年商142分、普163分、3年商85分、普302分であった。3年普通科は目標を達成できた。	課題の量や与え方、部活動との両立、生活習慣の見直しなど、様々な観点で考えていく必要がある。
	学習習慣確立への支援	個別指導・サタデイスクールによる学習習慣の確立への満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~80% C:79~75% D:74~60% E:59%以下	C	学校評価アンケートの結果、個別指導とサタデイスクールの評価の平均は、生徒ポイント76、保護者75ポイントであり、平均すると75ポイントであった。	個別指導やサタデイスクールが、学習習慣確立への支援として十分でないと感じている生徒・保護者が昨年度よりも増加傾向にあるので、指導方法や課題の与え方等追加・変更を検討する必要がある。
	教科指導の充実	年間に2回以上他の教員の授業を参観する。	B	6月の相互授業参観に加え、各教科やHR活動の研究授業に参加し、授業改善に努めた。	継続的に研修を続け、教科指導の充実を図りたい。
生活指導	朝読書の充実	朝読書を10分間とし、全校生徒で読破1万冊を目指すとともに言語活動の充実を図る。 A:1万冊以上 B:9,999~8,000 C:7,999~6,000 D:5,999~4,000 E:3,999以下	E	1月13日現在、3684冊であった。欠席者分を考慮してもEである。(紙媒体を使って調査した。)	北斗(総合的な探究の時間)関連で図書を利用する生徒が減少したことが一因と思われているが、まず朝読書の充実を図る。また、生徒数も減っている中で、モニエスタを検討する必要がある。昨年度は、紙媒体の調査では冊数が減少したとあったが、端末(Formz)での調査は調査生徒数が減少したようなので、紙媒体で調査したい。
	規律ある生活習慣の確立	「遅刻ゼロの日」(開校日で0のつく日を設定)の達成回数を年間12回以上とする。 A:12回以上 B:11~10回 C:9~8回 D:7~6回 E:5回以下	E	12月未現在、15回実施し、遅刻ゼロを達成できたのは5回であった。	今年度は全体的に遅刻生徒が多く、1月末現在、1日平均1.66人遅刻している現状である。また、特定の生徒が遅刻を繰り返しているため、基本的な生活習慣を確立させるとともに、個別に対応していく必要がある。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
生活指導	規律ある生活習慣の確立	一か年皆勤者率を60%以上とする。 A:60%以上 B:59~55% C:54~50% D:49~45% E:44%以下	B	2学期末の時点で、1年生59.9%、2年生50.5%、3年生63.5%、学校全体57.9%であった。	特定の生徒の欠席が多く、長欠の生徒も少なくない。個々に応じた有効な対応を考えていく必要がある。今年度も新型コロナウイルス対策で出欠扱いが認められ、欠席とならなかった生徒がいる半面、欠席しやすい状況になったとも考えられる。また、ワクチン接種の副反応による体調不良の生徒が予想以上に多かった。
	交通安全指導の充実	交通死亡事故などの重大事故0件、軽微な交通事故年間5件以内とする。	C	12月未現在、重大事故は0件、軽微な事故は8件、交通違反による指導は16件であった。	重大事故0件は絶対に守らなければいけない数字である。そのためにも、交通法規違反やマナー違反の指導件数が減少するように指導を徹底し、限りなく交通事故0件を目指す。
生活指導	健康管理指導の充実	生徒の健康や安全に関する指導への満足度85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74~70% E:69%以下	B	学校評価アンケートの結果、生徒81%、保護者77%であった。	保健委員会が実施しているホワイトボードへの掲示や啓発活動をさらに充実させる。特に感染症予防に関する最新の情報はいち早く取り入れて正しい知識の伝達を徹底したい。
	環境美化指導の充実	清掃活動などを通じた環境美化への評価85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74~70% E:69%以下	C	学校評価アンケートの結果、生徒78%、保護者80%であった。	昨年度より数値が下がっているので、清掃活動への取り組みの徹底など、環境整備委員会からの呼びかけさせたい。
	教育相談の充実	生徒の悩みに対する適切な相談・助言及び、援助が必要な生徒に対する適切な支援体制を充実させ、生徒・保護者の安心感85%を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74% ~70% E:69%以下	C	学校評価アンケートの結果、生徒81%、保護者77%であった。	教育相談担当教員やSLAの存在や教育相談室の利用方法について、教育相談日よりホームページを活用し、生徒・保護者への周知を徹底する。また、学年団との連携をとり、情報の共有をしていきたい。
		生徒会活動の活発化への満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	E	アンケート結果(生徒65%、保護者72%)	新型コロナウイルスの影響で、大きな学校行事やアゼンブリーなど全校生徒が集まる機会が減少していることが結果につながっているように思う。
		学校行事の創意工夫による生徒の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	E	アンケート結果(生徒66%、保護者65%)	学校行事を実施できたとしても、三密を避けるために様々な制約が入り、活動内容や活動量に物足りない内容になっている。制約を守った中で、できる限り良いものを実施できるように工夫していかなければならない。
		ホームルーム活動の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	C	アンケート結果(生徒80%、保護者72%)	昨年度の評価はBであった。学校行事との関係性が高いと思われる。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
生活指導	部活動の活性化	全ての部活動を充実させる。 全国大会出場部数、10部以上 A:10部以上 B:9~7部 C:6~5部 D:4~3部 E:2部以下 県総体出場者数、250名以上 A:250名以上 B:249~245名 C:244~240名 D:239~235名 E:234名以下 高文祭出場者数、100名以上を目指す。 A:80名以上 B:79~70名 C:69~60名 D:59~50名 E:49名以下 部活動の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	B	○全校大会出場部は、11部であった。(A) ○県総体出場者250名(A) ○高文祭出場者74名(B) ○部活動の満足度<生徒88%、保護者81%>(B)	ほぼ、目標を達成している。感染症などの影響で、活動の停止などありながらも、生徒たちはよく頑張っていると思う。部活動のアンケートにおいても、高い満足度を維持しているのは、大会等の中止がないためだと思われる。制約などで平常どおりの活動はできないが、大会等で成果を発揮できること感謝しつつ、頑張っていかなければならない。
進路指導	進学指導の充実	国立大学への合格者数を商業科10以上、普通科70名以上を目指す。 難関10大学及び国立大学医学部医学科5名以上の合格者数を目指す。 A:80人以上 B:79人~70人 C:69人~60人 D:59~50人 E:49人以下 難関大学合格を含め、総合的に判断する。	C	1月現在での国公立大学への合格者は、商業科12名、普通科23名で、難関10大学及び国立大学医学部医学科への合格は0名である。今年度は、商業科がすでに目標を達成し、普通科の合格者数も過去2年と比べて2名増で、全体の合格率も例年よりも高くなっている。	全国的に大学入学共通テストを課さない総合型選抜や学校推薦型選抜への志願者が増加傾向にある。本校も同様に、早く進路先を決めるため、あるいは、第一志望校の受験機会を増やすため、年内入試から受験する生徒が増加している。よって、低学年時に入試制度や入試時期を周知させたり、2学年終了時点で受験資格として必要あるいは優遇される資格を可能な限り取得したりできるように、各教科との連携に努める必要がある。また、ホームルーム活動や総合的な探究の時間に指導内容を組み込むように、各学年や特活課との連携も密にする必要がある。
進路指導	商業科生徒の卒業時における全商検定3種目以上1級取得者を85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74~70% E:69%以下	A	70名中60名の生徒が3種目以上1級取得(85.7%)を達成した。 ※令和4年12月28日現在	1年次から上位級の内容を意識した指導を行っていきたい。	
就職指導	就職内定率100%を達成する。 A:100% B:99~95% C:94~90% D:89~85% E:84%以下	A	就職希望者16名全員が内定を頂いた。(12/27現在)	・昨年度に引き続き、職場開拓と職業指導の充実に努め、早期の就職内定を目指す。	

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	進路情報提供の適切度	生徒・保護者に対する適切な進路情報の提供及び保護者との連携への満足度90%以上を目指す。 A: 90%以上 B: 89~80% C: 79~70% D: 69~60% E: 59%以下	C	学校評価アンケートの結果、進路情報の提供及び保護者への満足度の評価の平均は、生徒ポイント77、保護者70ポイントであり、平均すると73ポイントであった。	生徒の一人一台端末を利用し、Teamsを介してオンライン講義やオンラインオープンキャンパス等に参加するよう促したが、生徒がTeamsにアクセスしていなかったり、保護者にその情報が十分に伝わっていないなかつたりした可能性が十分にあるので、生徒と保護者が同じ情報を共有できる方法を検討する必要がある。
	家庭連絡の徹底	学校印刷物の適切な配布や伝達を実現する。また、メール等を利用し伝達の高速化を図る。	A	学校評価アンケートの結果、前年は74ポイントで、今年度は78ポイントと向上していた。	印刷物の伝達ポイントが向上しており、よい結果だと思う。今後はメール、SNSなど幅広い伝達を考えていきたい。
家庭・地域連携	PTA活動の充実	理事会・総会・研修会の活性化と参加率50%を目指す。 A: 50%以上 B: 49~45% C: 44~40% D: 39~35% E: 34%以下	B	出席率は、46%であった。	感染対策の中、総会、理事会の参加者は減少している。しかし、文化祭でのバザーや学校公開の参加人数は向上しており、保護者の関心の高さが感じられた。
	学校評価の充実	学校関係者評価委員会の活性化及び学校評価アンケートの各評価項目において生徒・保護者・教職員、いずれも90%を目指す。 A: 90%以上 B: 89~80% C: 79~75% D: 74~60% E: 59%以下	C	生徒77.6ポイント、保護者74.8ポイント、教員79.2ポイント、平均77.2ポイントの評価だった。	学校評議委員会並びに学校関係者評価委員会を年3回実施して御意見を学校行事や生徒指導などの改善に役立てている。
業務改善	学校ホームページの充実	毎日更新することにより、キャッチボール型学校運営を目指す。月の平均アクセス数9,000以上を目指す。 A: 9,000以上 B: 8,999~7,000 C: 6,999~6,000 D: 5,999~5,000 E: 4,999以下	A	累計640677アクセスがあり、月平均53364人(1月17日)	生徒への連絡がGmailやTeamsで行われる場面の増加、学校行事の縮小などのため、ホームページへのアクセスが減ると考えていたが、A評価であった。学校教育への関心がうかがえる。今後も教職員全員でプログラムの更新に努めたい。
	適切な勤務時間	教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。	C	コロナの影響で部活動等の教育活動が制限されたため、時間外勤務の時間は減少した。	会議や事務作業を見直し、効率化と精選を図る。
	職場環境の整備	健康保健室だよりや健康診断の結果から健康相談を定期的に実施し、教職員の疲労や心理的な負担の軽減を図る。	C	ストレスチェックの結果は昨年度とほぼ同様であり、全体として良好であった。	懇親会等は自粛のため実施できなかつたが、教職員間の円滑なコミュニケーションが図れるよう明るく和やかな職場環境を確立する。

※評価は5段階 (A: 十分な成果があった B: かなりの成果があった C: 一応の成果があった D: あまり成果がなかった E: 成果がなかった) とする。